

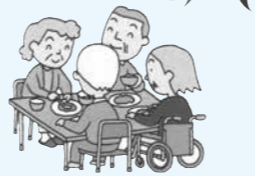
みんなのフクシ Q&A

日常生活で見聞きする、みなさんからの福祉に関する質問にアンサー!

Q ADL・IADLって何ですか?

A ●ADL (Activity of Daily Living) = 日常生活動作

食事や排泄、整容、移動、入浴など、日常生活を送る上で必要な基本動作、行動を指し、リハビリテーションや介護の中で使われている用語で、高齢者や障がい者の方の生活自立度を評価する際の重要な指標のひとつとなっています。



●IADL (Instrumental Activity of Daily Living) = 手段的日常生活動作

ADLを基本にした日常生活上の複雑な動作のことです。掃除や洗濯、買い物、食事の支度、金銭や薬の管理、外出して乗り物に乗ること等を指します。最近では、趣味活動も含めるようになってきています。



三本木居宅介護支援事業所 平成26年 3月1日開設



当社会福祉協議会では、新たに、三本木地域に居宅介護支援事業所を開設いたします。

介護支援専門員によるケアプランの作成、介護保険認定の申請代行からサービスの利用まで、安心してご利用いただけるよう皆さまの生活をサポートしてまいります。

介護でお悩みのこと、お困りのことなど…お気軽にご相談ください。ご相談は無料です。



- 事業所名 : 大崎市社会福祉協議会 三本木居宅介護支援事業所
- 所在地 : 大崎市三本木字大豆坂24-3 三本木保健福祉センター内
- TEL : 0229-52-2929
- 営業日時 : 月曜日～金曜日 午前8時30分～午後5時15分 (※祝祭日、12月29日～1月3日を除く)



職員募集

福祉の職場で働きたい方を募集しています。お気軽にお問い合わせ下さい。



◆職種 保健師・看護職員・介護職員

- ◆勤務地
 - ・地域包括支援センター(大崎市/古川・岩出山・田尻) ※保健師
 - ・特別養護老人ホーム 敬風園(大崎市鹿島台)
 - ・特別養護老人ホーム 楽々楽館(大崎市古川)
 - ・短期入所生活介護施設 楽々楽館(大崎市古川)
 - ・通所介護事業所(デイサービスセンター) (大崎市/古川・松山・鹿島台・岩出山・鳴子地域)
 - ・訪問介護事業所等(大崎市/古川・松山・鹿島台・岩出山・鳴子・田尻地域)
 - ・生活介護事業所(大崎市鹿島台)
 - ・共同生活介護(援助)事業所【ケアホーム】(大崎市/古川・鹿島台地域)

- ◆応募条件
 - ・保健師……保健師資格
 - ・看護職員……看護師資格 (看護師・准看護師)
 - ・介護職員……特になし

- ◆待遇
 - 詳細については、当会給与規程に基づき決定いたします。パートタイムでの勤務可 ※勤務時間等相談に応じます。

- ◆年齢/性別 不問
- ◆応募 電話連絡の上、履歴書・資格証(写し)を送付ください。

※なお、勤務地については相談により決定いたします。

【連絡先】社会福祉法人 大崎市社会福祉協議会 職員厚生課
〒989-6154 宮城県大崎市古川三日町二丁目5-1(大崎市古川保健福祉プラザ3階)

☎ 0229-21-0550

災害ボランティアコーディネーター研修会



いつ起こるか予測のつかない「災害」。平常時から事前研修を実施することにより、大規模災害発生時にもこれまでの常識にとらわれることなく、全ての職員が状況に応じた柔軟かつ適切な対応ができるよう、社会福祉協議会職員として災害支援を学び、コーディネーター力を身に付けることを目的に、全4回実施しました。

3回目 ▶ 2013-08-30

■研修⑤
演習編「災害ボランティアセンター設置運営訓練」
～時系列に沿った災害VCの運営と対応～

参加職員ノート
——災害ボランティアセンター設置運営研修で重要となるポイント(行動や手法など)——

- 刻々と変わる現場の状況に合わせて、優先順位やバランスに配慮しながら迅速に対応すること。
- 被災した状況の中でも、被災者の自立を妨げない、役割を理解し、取り上げない支援をしなければならない。
- 寄せられた相談には出来るだけ応えていくこと。

センターで応じられない内容については、NPO、各種関係団体等と連携していくこと。



大崎市鳴子保健・医療・福祉総合センター

4回目 ▶ 2013-09-11

■研修⑥
総括編「過去の災害から学ぶ これまでの災害から東日本大震災での支援活動から見たこと」

～全国でも支援活動ができる コーディネーターとは～

■研修⑦ 総括編 これまでの振り返り

参加職員ノート
——研修を受けての感想——

4回の研修を通じ、災害時の災害ボランティアセンターの動きや役割について、理解を深めることができました。災害時には普段の業務も緊急対応や災害時業務を求められることから、「被災住民の生活再建」という本来の目的を見失わずに、所属の事業所、災害ボランティアセンターそれぞれの役割を念頭に置きながら対応できるように努めていきたいと思えました。



大崎市古川保健福祉プラザ

大崎市社会福祉協議会 災害派遣福祉・介護チーム(DCAT)設置

宮城県内外における大規模災害、局部的災害発生時、被災地や福祉避難所に福祉・介護の専門職員を派遣し、要介護者・高齢者・障がい者などの福祉ニーズを把握し、ケアや調整にあたる災害救援活動を任務とする「災害派遣福祉・介護チーム」を設置—平成25年11月1日—。

災害派遣チームは、社会福祉士、看護師、介護福祉士、事務職員(有資格者)により構成され、1チーム5名で編成し、後方支援担当を配置した3チームを設置しました。

今後は、派遣用資機材等の体制整備、チーム体制の強化、専門的知識と高度な災害支援技術の向上を図るため、研修会への積極的な参加、災害現場を想定したシミュレーション訓練を行う等、研鑽を積み、災害対応力の習得に努めてまいります。



Osaki Shakyo Disaster Care Assistance Team